

見交換会を開催するなど、地域の実情に合った運営ができるよう努める。出前講座などでも声を伺つており、見直しに反映する。

地域活性化総合特区指定への動きは

問 被災地の環境都市への再生として「スマート」ミニ「ティ」への動きがあり、期待される。本市でも環境観光モデル都市づくり推進特区の動きがある。

①その内容は。②本市はどのように参画するのか。

答 ①沼隈町常石地区を中心としたエリアで、工場と家庭が連携したエネルギーの効率的な活用や環境観光の振興などを行う「地域活性化総合特区」の指定をめざす。②12月中旬に国の審査の結果が出ると聞いており、国の決定を受けて県や参加企業と連携を図る。

災害廃棄物の受け入れは

問 2200万トン以上と言われる、東日本大震災で発生した、がれきなどの災害廃棄物の処理が進められている。本市に

も受け入れの調査があつたと思うが、現状は。また、情報を開示して議論するべきと考えるが。

答 23年11月に国から、受け入れについて再調査があつたが、災害廃棄物の処理に関わる安全性や処理基準等が不明確で、未定と回答した。本市としては、中核市市长会を通じて、放射能汚染に対する安全対策の推進や健康被害対策の強化など、適切な措置を講ずるよう国に要請した。今後、国が示す災害廃棄物の処理方針を注視し、市民の安全・安心を基本に、情報開示を含め、適切に判断する。

女性委員の登用率向上対策は

問 本市における審議会などへの女性委員の登用率は23%と県内市町平均の24・6%に及ばない。どう分析し、どのような対策を講じているのか。

答 その要因は、委員等の推薦をいただく選出母体に女性の参画が進んでいない状況や、選任基準に職務分野を指定している場合、その分野に女性が少ないとなどが考えられる。こうした状況を踏

まえ、女性の公募委員の積極的起用、男女共同参画センターに登録した人材情報の活用、女性参画の必要性の周知、啓発などをう。行う。

公明党



中安加代子
議員

子どもの読書教育は

問 「子ども読書活動推進計画」を22年に策定し、読書環境の整備、読書活動の計画的な推進に取り組んでいる。絵本と出会いうふれあい事業では、図書館司書が絵本の読み聞かせを行つたり、こん

には赤ちゃんと訪問事業では、お

はなし会のチラシなどを配布して読み聞かせの大切さを伝える取り組みを行つてある。引き続き、学

読書活動の一層の充実に努める。

女性の視点での防災対策は

問 ①女性、高齢者、障がい者の視点での緊急物資の備蓄状況は。②女性等が災害時の担い手として活躍できる仕組みを防災対策に取り入れる考えは。

答 ①避難所用仕切りユニットや介護・衛生用品、身障者用トイレ等の備蓄を行つてある。②女性会等を対象に出前講座を実施するなど、地域防災活動を担う人材の育成に努める。また、女性や子ども、高齢者、障がい者等さまざまな立場の人たちに配慮した避難所の運営マニュアル作成に取り組む。

市民連合



川崎 卓志
議員

高校生の就職支援は

問 高校生の就職内定率は、県教委のまとめでは、10月末現在、61%で前年度比1・5ポイ